

～ 1年次のまとめ ～

確かな力を育てる各教科等を合わせた指導を中心とした授業づくり

(仮)

児童生徒が自分のもつ力をいつでもどこでも誰とでも発揮できるような確かな力に育てていくために令和2年度に取り組んできたことを次のようにまとめました。

【研究実践】

(1) 各教科等を合わせた指導において関連する各教科等の目標・内容の確認

岩手大学教育学部教職員大学院にて開発された「単元構想シート」を活用し、小学部は「遊びの指導」と「生活単元学習」、中学部と高等部は「作業学習」において関連する各教科等の目標・内容を確認しました。

⇒ア. 「単元構想シート」を作成することで、多くの各教科等の目標・内容が関連していることを確認しました。

イ. 同じ学習活動でも児童生徒の実態によって関連する各教科等の目標・内容が異なることを確認し、それを踏まえた支援を行いました。そして評価の場面では関連する各教科等の学習内容が取り扱われたのかを再確認したりしました。

「伝える」という同じ活動でも児童生徒の実態によっては、国語に関連したり、自立活動に関連したりするよね。

関連する教科が同じでもその目標や内容が異なることもあったよ。

算数に関連していることが分かったから、単位を意識して声掛けしたよ。



(2) 関連する各教科等の目標・内容を踏まえた授業づくり

単元構想シートによって確認した関連する各教科等の目標・内容を踏まえつつ、児童生徒が「主体的に活動する」授業づくりを行いました。全校授業研究会や学部授業研究会を実施し、授業づくりや関連する各教科等の目標・内容について意見交換しました。また、県内特別支援学校や近隣の特別支援学級設置校の教職員を対象に全校授業研究会を公開し、意見交換しました。

⇒ア. 授業研究会では、授業参観者が見た児童生徒の姿から、関連する各教科等の目標・内容について多くの意見が出ました。それらについて共有したり意見交換したりすることは、授業づくりの参考になりました。

作業日誌を作業場所に置くことで作業内容や目標数を生徒自身がいっつも確認できるようになっていましたね。

作業日誌を活用することで生徒が見通しをもって取り組んでいたと感じました。

見通しをもって取り組んでいたから、職業・家庭（職業分野）の「A 職業生活」の中学部1, 2段階の「A働くことの意義」につながるのではないかと思います。



(3) 「育成を目指す資質・能力」の検討

本校では学校教育目標に示された「主体的に活動する姿」を実現するために各学部段階で期待する主体的に活動する姿を学部目標に、学習において期待する主体的に活動する姿を学習のねらいとし、単元で期待する主体的に活動する姿を単元目標に示しています。これらの期待する姿を実現するために必要な力を本校の「育成を目指す資質・能力」と考え、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の3つの柱で整理することを全校で確認しました。

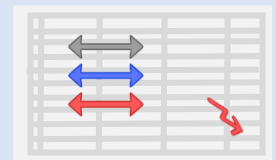
そして、小学部「遊びの指導」「生活単元学習」、中学部及び高等部「作業学習」において「育成を目指す資質・能力」と各学部において「育成を目指す資質・能力」を検討しました。

⇒ア. 検討した結果、小学部、中学部、高等部において「育成を目指す資質・能力」及び小学部「遊びの指導」「生活単元学習」、中学部・高等部「作業学習」において「育成を目指す資質・能力」を明らかにすることができました。

イ. 「育成を目指す資質・能力」について検討する中で、児童生徒の具体的な姿やその学習においてどんな力を育てていきたいのかということについて共有することができました。

(4) カリキュラム・マネジメント

各教科等を合わせた指導において関連する各教科等の目標・内容を確認し、教科別の指導等で取り扱う学習内容や時期、期間等について検討、整理し、児童生徒の学びがつながるように配列していくことを確認しました。



【1 年次のまとめ】

(1) 成果

ア. 各教科等との関連を踏まえた各教科等を合わせた指導の授業実践

(ア) 各教科等を合わせた指導には多くの各教科等の目標・内容が関連していることが確認できました。

(イ) 児童生徒個々の目標や支援、評価について各教科等の視点で考えることができました。

(ウ) 私たち教師が各教科等の視点を学ぶことができました。

イ. 「育成を目指す資質・能力」の明確化

(ア) 「育成を目指す資質・能力」を明らかにし、共通理解が図られました。

(イ) 児童生徒観や学習観を共有することができました。

(2) 2 年次に向けて

ア. カリキュラム・マネジメントの実施

児童生徒の学びがつながるように、取り扱う学習内容の時期や期間等について整理及び配列した指導計画に基づいた授業実践を進めていきます。

イ. 「育成を目指す資質・能力」を踏まえた授業実践

「育成を目指す資質・能力」について共通理解を図り、「主体的に活動する姿」を実現するために必要な力である「育成を目指す資質・能力」が身に付くような授業づくりを目指します。